

# 時習 四月号

四月 十九日

## 山笑う 春のほほえみ

「山笑う」という春の季語があります。

花や新芽に彩られて、ほころびたような山々は、確かに微笑んでいるように見えます。

そして、「山笑う」という言葉を聞いたり、文字を見たりすると笑っている山々が目に浮かんできます。

もし、「学校笑う」という言葉があったら、どうでしょう。何か楽しい気持ちになりますね。学校みんなが微笑み合っているような楽しい雰囲気伝わってきます。

微笑み合える学級・学年・学校であつたら願っています。

## それぞれの学年・学級でスタート

入学式もすみ、七十二名の一年生が入学してきました。平成二十二年度は、五百十四名でスタートです。昨年からすると、二十名近く児童数が減少しました。三年生は二クラスになりました。

それぞれの学級で、学年に応じた目標が設



定され、学級のきまり、生活のきまりなども決定されたようです。まさに、「一年の計は元旦にあり」学校の一年の始まりです。新しい気持ちでみんなが張り切っています。

## 今年も嬉野小スピリッツ

元氣いっぱい あいさつ名人

挨拶は、心のつながりを深め

ます。元氣な挨拶が響く学校を目指します。

やる氣いっぱい 聞き方名人

目力を持つて、凜とした気持ちで伝わるような学びの姿勢を目指します。学習は聞くことから始まります。

笑顔いっぱい やさしさ名人

笑顔で優しい言葉遣いができる子どもを目指します。優しい言葉は、教えないと身に付きません。そして何より学校だけではできません。生活ことば（日常生活で使う言葉）が基本です。ご協力をお願いします。

気遣いは心遣い、心遣いは言葉遣いとして現れるようです。互いに良い言葉の使い手を育てていきましょう。

## 家庭訪問が始まりました。

あいにくの雨になりました。このところの天気は困ったものです。暑くて半袖の夏物を出したら、今度は一転して冬の寒さでした。



四月に東京では雪が降ったと長女から写真が届きました。何とも不思議な天気です。雨の日の家庭訪問は困りものですが、土砂降りではないので何とかなるでしょう。

この時期の家庭訪問は大切です。担任がそれぞれの家庭を訪問し、お話を聞かせていただきます。家庭の様子や友達のこと、そして、子どもさんに関わることをいろいろと知って、学校の生活や学習にいかしていきます。お忙しい中ですが、時間を作ってくださいありがとうございます。お世話になります。

## 四月行事アラカルト

- ・マーチングバンドの昼休みコンサート
  - ・三年生の茶揉み体験
  - ・一年生の交通教室
- 楽しく、ためになる行事がいっぱいです。これからもお楽しみに！

